

令和4年度業務概要

岐阜県保健環境研究所

Gifu Prefectural Research Institute for Health and Environmental Sciences

目 次

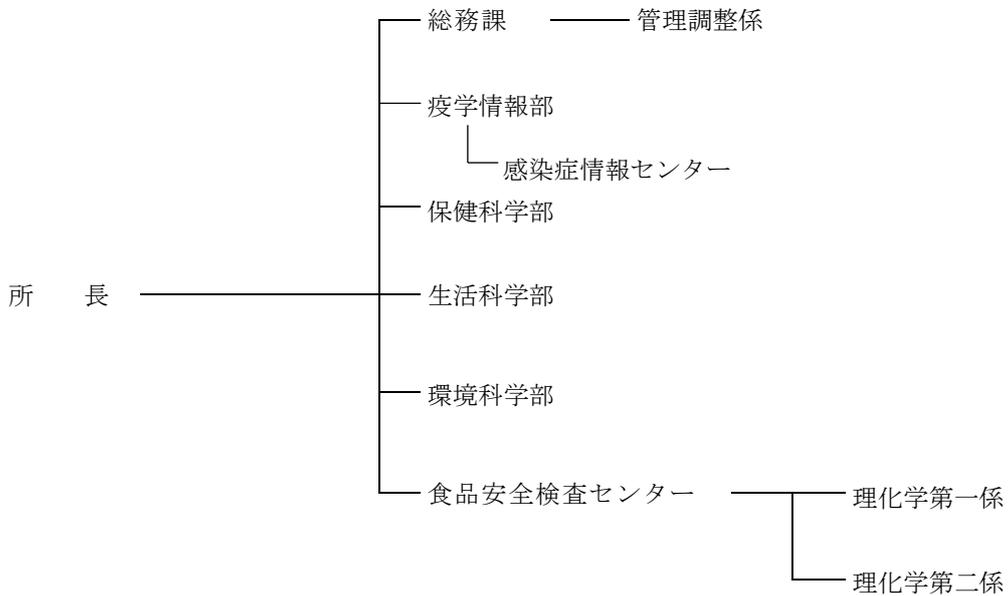
1	沿 革	1
2	運営概要	
2.1	組 織	2
2.2	職 員 数	2
2.3	分掌事務	2
2.4	歳入及び歳出	5
2.5	土地建物・施設	6
3	部門別業務概要	
3.1	疫学情報部	7
3.2	保健科学部	7
3.3	生活科学部	14
3.4	環境科学部	17
3.5	食品安全検査センター	22
4	技術指導及び支援	
4.1	保健所職員等の研修	27
4.2	講師派遣	27
4.3	研修生の受入	27
4.4	技術支援	27
4.5	来所者等への個別指導	27
5	行 事	
5.1	会議等	28
5.2	研修会等	29
5.3	学会等	30
6	検査備品	
6.1	主要検査備品	30

1 沿革

昭和	23年	3月	衛生研究所開設（岐阜市司町 県庁内）
	26年	8月	衛生研究所新築移転（岐阜市八ツ梅町）
	40年	4月	衛生研究所に公害研究センターを新設
	43年	4月	衛生研究所に公害研究所を付置
	45年	3月	衛生研究所新築移転（岐阜市野一色）
	45年	4月	公害研究所，衛生部より企画開発部へ所管換
	47年	4月	公害研究所，企画開発部より環境局へ所管換
	48年	4月	衛生研究所に薬事指導所を付置
	49年	12月	公害研究所移転（岐阜市藪田）
	57年	4月	公害研究所，環境部より生活環境部へ所管換
	58年	4月	衛生研究所は衛生部より，公害研究所は生活環境部より衛生環境部へ所管換
平成	5年	4月	衛生研究所と公害研究所が組織統合により保健環境研究所に改称
	8年	4月	保健環境研究所，衛生環境部より総務部に所管換
	10年	4月	保健環境研究所，総務部より知事公室に所管換
	11年	4月	薬事指導所を廃止
	11年	8月	保健環境研究所新築移転（各務原市那加不動丘1-1 健康科学センター内）
	18年	4月	保健環境研究所，知事公室より総合企画部に所管換
	19年	4月	健康科学担当を廃止
	20年	4月	食品安全検査センターを新設
	22年	4月	保健環境研究所，総合企画部より健康福祉部に所管換
	25年	4月	岐阜県感染症情報センターを健康福祉部保健医療課から保健環境研究所へ移管
	26年	4月	岐阜保健所の試験検査部門を食品安全検査センターへ移管
	28年	4月	疫学情報部を新設，感染症情報センターを同部へ移管
	31年	4月	食品安全検査センター微生物係を保健科学部へ再編

2 運営概要

2.1 組織



2.2 職員数

(令和5年3月31日現在)

区分	定数	実人員	実 人 員 内 訳						
			所長	総務課	疫学情報部	保健科学部	生活科学部	環境科学部	食品安全検査センター
事務	3	4		4					
技術	37	34	1		3	11	3	8	8
専門職		5		1		1	1	2	0
計	40	43	1	5	3	12	4	10	8

2.3 分掌事務

総務課

- ・ 予算の編成，執行及び決算に関すること。
- ・ 岐阜県健康科学センターの管理，活用に関すること。
- ・ 県有財産及び物品の維持管理に関すること。

疫学情報部

- ・ 岐阜県感染症情報センター及び感染症発生動向の調査研究に関すること。
- ・ 岐阜県感染症予防対策協議会感染症発生動向調査部会に関すること。
- ・ 感染症・食中毒疫学研修会及び保健所試験検査担当者研修会に関すること。
- ・ 県民健康実態調査及び調査研究に関すること。
- ・ 検査の精度管理（信頼性確保）に関すること。

保健科学部

- ・感染症発生动向調査事業（ウイルス及び細菌）の検査及び調査研究に関すること。
- ・新型コロナウイルスゲノム解析に関すること。
- ・インフルエンザの検査及び調査研究に関すること。
- ・ウイルス性食中毒の検査及び調査研究に関すること。
- ・感染症流行予測調査に関すること。
- ・つつが虫病等リケッチア感染症の血清学的検査及び調査研究に関すること。
- ・3類感染症の検査及び調査研究に関すること。
- ・浴槽水から検出されるレジオネラ属菌の検査及び調査研究に関すること。
- ・動物由来感染症（ウイルス及び細菌）の検査及び調査研究に関すること。
- ・結核菌の検査及び調査研究に関すること。
- ・薬剤耐性菌の検査及び調査研究に関すること。
- ・薬品の細菌学的検査に関すること。
- ・クリプトスポリジウムの検査に関すること。
- ・バイオテロに関する検査に関すること。
- ・不明疾患の検査及び調査研究に関すること。
- ・保健所検査担当者の技術研修に関すること。
- ・食品に係る健康危機事案及び苦情食品の検査に関すること。
- ・食品中の細菌検査に関すること。
- ・食中毒関係の検査・調査研究に関すること。

生活科学部

- ・医薬品等の公的認定試験検査機関の任務に関すること。
- ・医薬品に係る検査及び調査研究に関すること。
- ・医薬部外品に係る検査及び調査研究に関すること。
- ・化粧品に係る検査及び調査研究に関すること。
- ・医療機器に係る検査及び調査研究に関すること。
- ・医薬品等の品質管理技術及び研究に関すること。
- ・薬物乱用防止に係る検査及び調査研究に関すること。
- ・いわゆる健康食品・無承認無許可医薬品に係る検査及び調査研究に関すること。
- ・家庭用品に係る検査及び調査研究に関すること。
- ・衛生動物及び昆虫の同定・駆除に係る検査に関すること。
- ・特定外来生物の同定及び検査技術研修に関すること。
- ・感染症媒介蚊の同定及び検査技術研修に関すること。
- ・クロバネキノコバエ調査に関すること。
- ・岐阜危険ドラッグ解析技術連携協議会に関すること。
- ・連携大学院の運営及び活用に関すること。

環境科学部

- ・大気汚染状況常時監視テレメータシステムの管理運営に関すること。
- ・大気環境測定車による環境大気の測定調査に関すること。
- ・微小粒子状物質(PM_{2.5})成分分析及び調査研究に関すること。
- ・国設酸性雨測定所の管理に関すること。
- ・東アジア酸性雨モニタリング調査（陸水）に関すること。
- ・地下水の水質概況調査及びモニタリング調査に関すること。
- ・公共用水域の水質検査及び調査研究に関すること。
- ・公害発生源立入調査及び産業廃棄物最終処分場に係る水質検査に関すること。

- ・未規制化学物質の実態調査に関すること。
- ・ダイオキシン類等微量化学物質の測定及び調査研究に関すること。
- ・廃棄物及びリサイクル認定製品の検査及び調査研究に関すること。
- ・環境放射能の測定及び調査研究に関すること。
- ・水道水の放射性物質モニタリング検査に関すること。

食品安全検査センター

- ・食品中の残留農薬・残留抗菌剤等に係る検査及び調査研究に関すること。
- ・農薬の新規検査法の確立に関すること。
- ・食品添加物の検査及び調査研究に関すること。
- ・食品中のPCB・重金属に係る検査に関すること。
- ・食品中のアフラトキシンの検査に関すること。
- ・食品用器具及び容器包装の検査に関すること。
- ・食品に係る健康危機事案及び苦情食品の検査に関すること。
- ・未規制農薬の新規検査法の開発に関すること。
- ・自然毒（カビ毒、植物毒等）の検査・調査研究に関すること。
- ・食品等の放射性物質に係る検査・調査研究に関すること。
- ・食品中のアレルギー物質の検査及び調査研究に関すること。
- ・遺伝子組み換え食品に係る検査・調査研究に関すること。
- ・食品中の異物の検査及び調査研究に関すること。
- ・自然毒による食中毒の検査・調査研究に関すること。

2.4 歳入及び歳出

[歳入] 単位：円

名 称	収 入 額	備 考
健康科学センター使用料	57,551	
国庫補助金	722,000	
労働保険料等納付金	89,016	
雑入（目的外使用料管理費外）	308,894	
計	1,177,461	

[歳出] 単位：円

目 名 称	決 算 額	備 考
一般管理費	59,242	
財産管理費	1,820,500	
医務総務費	604,046	
医務費	254,000	
健康増進対策費	1,669	
医療整備対策費	26,317	
保健環境研究費	171,904,165	
保健所費	645,500	
食品衛生指導費	95,596,195	
生活衛生指導費	2,079,755	
感染症予防費	613,529,223	
薬務費	8,946,028	
水道費	78,000	
環境管理推進費	1,510,795	
公害対策費	42,290,588	
農業振興費	27,445	
計	939,373,468	

2.5 土地建物・施設

1) 土地

所在地：各務原市那加不動丘 1-1

面積：12,320.63m²

2) 建物

	室名	面積 (m ²)
	屋上機械室	61.86
5 F	遺伝子解析実験室・安全実験室・血清研究室・無菌室 ウイルス研究室・培地調製室・細菌研究室・低温機器室 暗室・滅菌洗浄室・カンファレンスルーム	985.55
4 F	抗菌剤自然毒研究室・食品添加物研究室・薬品研究室 残留農薬研究室・バイオサイエンス研究室・遮光実験室 生活衛生研究室・生薬鑑定種子保存室・共通機器室 低温機器室・低温保存室・カンファレンスルーム	985.55
3 F	地球環境研究室・廃棄物研究室・蒸留水電気炉室 大気研究室・官能試験室・臭気研究室・共通機器室 恒温恒湿実験室・ドラフト実験室・カンファレンスルーム	985.55
2 F	水質研究室・揮発性物質前処理室・低温保存室 PCR検査室・共通機器室・食品添加物第2研究室 細菌検査室・理化学検査室	1,861.89
1 F	所長室・テレメーター室・微量化学物質分析室・疫学情報室 環境放射能研究室・総務課事務室・会議室・図書室・書庫 食品安全検査センター第1・2執務室	1,837.71
	研究所棟 小計	(6,718.11)
	共通部分 研修室・レファレンスホール	1,243.91
	保健所棟	1,877.57
	別棟 (車庫)	135.22
	小計	(3,256.70)
	合計	9,974.81

3 部門別業務概要

3.1 疫学情報部

3.1.1 調査研究

数理モデルを用いた感染症の発生動向解析手法の確立

(令和3年度～令和5年度)

インフルエンザや腸管出血性大腸菌など、岐阜県内にて発生する各種感染症の発生動向について、数理モデルを用いた疫学調査データの解析手法の確立を目指して、ロタウイルスワクチンの定期接種化(2020年10月以降)に伴う患者報告数の変化を調査し、その効果についての評価を試みた。

3.1.2 感染症情報センター(感染症発生動向調査事業)

岐阜県感染症発生動向調査事業実施要領に基づき、全数把握対象疾患については県内全医療機関から、定点把握対象疾患については県内延べ171の定点医療機関から各保健所及び岐阜市保健所に報告されたデータを集計及び解析し、その結果を岐阜県感染症発生動向調査週報としてホームページに公開した。また、医療機関等から当所及び岐阜市衛生試験所に提供された検体の病原体検査情報について、毎週とりまとめ、ホームページに掲載した。さらに、岐阜県感染症発生動向調査年報(2021)及び2021/22シーズンのインフルエンザ流行についてとりまとめた。

その他、保育所、福祉施設及び一般県民向けに感染症の流行状況や予防方法をわかりやすくまとめた「ぎふ感染症かわら版」(9回)を発行した。

また、岐阜県感染症予防対策協議会 感染症発生動向調査部会を毎月1回開催し、専門家による解析評価を受けた。

3.1.3 感染症・食中毒疫学研修会の開催

主に保健所の感染症担当者を対象に、感染症サーベイランスの概要及びその実践的な方法について研修会(講演)を開催した。

3.1.4 保健所試験検査担当者研修会の開催

保健所等の試験検査担当者を対象に、食中毒菌検査、環境水検査等に関する事例発表会を3回開催した。

3.1.5 県民健康実態調査

県民健康実態調査システムを用いて、医療保険者から提供された令和2年度の特定健診データ(約30万人分)を分析し、県民健康実態調査報告書としてまとめた。

3.1.6 検査施設の信頼性確保

病原体検査及び食品衛生検査における精度管理のため、外部精度管理調査計画の作成及び内部精度管理の実施要領を作成のうえ、検査記録の点検、精度管理結果の評価とその講評を行った。必要な事項について改善を求め、検査結果の信頼性確保に努めた。

3.2 保健科学部

3.2.1 調査研究

1) 環境水中のカルバペネマーゼ産生腸内細菌科細菌サーベイランス

(令和3年度～令和5年度)

岐阜県における臨床および環境における薬剤耐性菌(主に広域的に使用されているβ-ラクタム剤に耐性を持つ腸内細菌科細菌)の存在の全貌を把握するために、下水流入水と河川水からの薬剤耐性菌の検出と解析を行う。また、その薬剤耐性遺伝子を臨床検体由来株と比較することで、県内で潜在的に存在している薬剤耐性菌の実態を浮き彫りにすることを目的に検討を行う。

令和4年度は、毎月1回1施設の下水流入水をサンプリングし、延べ120株のカルバペネマーゼ産生腸内細菌目細菌を検出した。カルバペネマーゼの遺伝子型別を行ったところ、従来から下水由来株で認められたIMP型やGES型に加え、NDM型やOXA-48型のカルバペネマーゼ遺伝子が検出された。また、毎月1回河川定点より河川水をサンプリングし、13箇所の延べ156検体のうち39検体からESBL産生大腸菌を検出した。ESBL遺伝子の遺伝子型別やシーケンスタイプ及び薬剤感受性試験を実施した。

2) 県内に流通する食品の食中毒菌汚染実態調査及び食品由来の薬剤耐性菌の出現実態調査

(令和4年度～令和6年度)

食品ごとの食中毒菌の汚染実態の把握を目的とし、県内に流通する食品について細菌性食中毒の主な起因菌である腸管出血性大腸菌、サルモネラ属菌、カンピロバクター属菌、下痢原性大腸菌の検査を行い、食品ごとの食中毒菌汚染状況を公開することで食中毒発生の未然防止につなげる。さらに、HACCPに基づく食品リスク評価に用いる基礎データとして活用する。

令和4年度は鶏肉15検体について汚染状況を調査するとともに、検出された項目について定量検査を行った。結果、鶏肉の汚染率が高いとされている、サルモネラ属菌は10検体(すべて *Salmonella* Schwarzengrund) から検出されたが、カンピロバクター属菌は1検体 (*Campylobacter jejuni*) のみ検出であった。また、いずれの検体についても、汚染菌量は検出下限値以下または少なかった。腸管出血性大腸菌及びその他の下痢原性大腸菌については、腸管病原性大腸菌及びその他の下痢原性大腸菌 (*astA* 単独保有) がそれぞれ4検体、8検体から検出されたが、その他は不検出であった。

3) 厚生労働省科学研究費補助金による研究事業

新興・再興感染症及び予防接種政策推進研究事業「食品由来感染症の病原体解析の手法及び病原体情報の共有に関する研究」、「環境水を用いた新型コロナウイルス監視体制を構築するための研究」及び食品の安全確保推進研究事業「食品微生物試験法の国際調和のための研究」に研究協力者として参加し、調査研究を行った。

4) 医療研究開発推進事業費 (AMED) 補助金による研究事業

新興・再興感染症に対する革新的医薬品等開発推進研究事業「薬剤耐性菌のサーベイランスの強化および薬剤耐性菌の総合的な対策に資する研究」、「急性呼吸器疾患の検体中におけるRSVを含む呼吸器系ウイルス検出に関する研究」及び「病原体ゲノミクス・サーベイランスを基盤とした公衆衛生対策への利活用に係る研究」に研究協力者として参加し、調査研究を行った。

3.2.2 行政検査

[ウイルス関係]

1) 感染症流行予測調査 (ポリオ感染源調査 (環境水))

平成24年9月にポリオワクチンがこれまでの経口生ワクチン(OPV)から不活化ワクチン(IPV)に変更されたことに伴い、平成25年度からポリオ感染源調査の調査方法として環境水調査が7月から12月まで行われることとなった。平成30年度からは4月から翌年3月までの通年検査となり、月1回県内の公共下水道終末処理場の協力のもと、流入下水を採取し、濃縮後、RD-A細胞、VeroE6細胞、HEp-2細胞、A549細胞及びL20b細胞によるウイルス分離を実施した。年間を通して、何れの検体からもポリオウイルスは検出されなかったが、全ての検体から非ポリオウイルス(エンテロウイルス、アデノウイルスなど)が分離された。

2) 不明疾患

原因不明の感染症(疑いを含む)による集団感染発生時に、保健所等からの依頼に基づき検査を行っている。令和4年度は、厚生労働省の通知に基づき、小児の原因不明の急性肝炎が疑われた3人分18検体について、アデノウイルス等を対象に検査を行った。結果はすべてウイルス不検出であった。

3) 感染症発生動向調査事業等におけるウイルス検査

1. 検査:平成28年より当該事業で行う検査のうち、5類定点疾患のA群溶血性連鎖球菌感染症、水痘、突発

性発しん及び伝染性紅斑については岐阜市内だけでなく全県域から提出された検体について岐阜市衛生試験所で検査を行うこととし、インフルエンザと前述の4疾患を除いた5類定点疾患と5類全数の急性脳炎、急性弛緩性麻痺については岐阜市を含む県全域の定点医療機関から提出された検体について当所が行うこととなった。一方、4類感染症、5類全数検査の麻しん、風しん、5類定点疾患のインフルエンザについては引き続きそれぞれで検査を行っている。今年度に当所で行った検査数と検出病原体について表1にまとめた。

2. 当該事業における情報提供：検査結果は、感染症対策推進課、各保健所を通じて検体提出医療機関に報告し、遺伝子検出や分離同定されたウイルスについては、患者の疫学情報を加えて国立感染症研究所に報告した。

表1 発生動向調査（ウイルス担当分）検査状況

感染症類型	症例数 (検体数)	病原体検出 症例数	検出病原体（検出症例数） (同一症例からの複数検出を含む)
4類			
A型肝炎	1 (1)	1	A型肝炎ウイルス IIIA型(1)
E型肝炎	1 (2)	0	
デング熱	3 (5)	2	デングウイルス2型(1) デングウイルスIgM抗体(1)
ダニ媒介性疾患 (重症熱性血小板減少症候群、つつが虫病、日本紅斑熱等)	7 (24)	1	つつが虫病リケッチア Kuroki型 (1)
5類全数			
急性脳炎 (ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く)	1 (2)	1	コクサッキーウイルスA6型 (1)
5類定点			
インフルエンザ	6 (6)	6	インフルエンザウイルスAH3型 (6)
感染性胃腸炎	1 (1)	1	ノロウイルスGII.4 Sydney 2012 (1)
RSウイルス感染症	15 (15)	8	RSウイルスA型 (7) パラインフルエンザウイルス3型 (1)
手足口病	2 (3)	0	
流行性角結膜炎	5 (5)	5	アデノウイルス37型 (1) アデノウイルス53型 (2) アデノウイルス64型 (2)
無菌性髄膜炎	1 (1)	1	ムンプスウイルス (ワクチン株) (1)

その他 敗血症	1 (4)	1	ライノウイルス (1)
合 計	44 (69)	27	

4) 新型コロナウイルス検査

2019年に中国で初めて見つかった新型コロナウイルス感染症について、岐阜県内（岐阜市を除く）において発生した疑似症患者、確定患者の濃厚接触者等についてリアルタイムPCR法によるウイルス遺伝子の検出により感染の有無を評価した。検査数は以下の通り（表2）。

また、陽性となった検体及び医療機関からのゲノム解析依頼検体について、変異株スクリーニング検査による変異株の推定を行った後、次世代シーケンサーによる全ゲノム解析を実施した。

表2 新型コロナウイルス検査実施状況

月	検査症例数*		全ゲノム解析 実施数
4月	18,989	(4,367)	192
5月	15,745	(3,799)	141
6月	8,189	(1,425)	165
7月	14,687	(2,660)	168
8月	11,105	(1,482)	216
9月	3,960	(322)	304
10月	2,918	(308)	71
11月	8,012	(592)	156
12月	10,591	(1,076)	208
1月	5,832	(560)	192
2月	1,707	(177)	64
3月	1,210	(112)	71
合計	102,945	(16,880)	1,948

※延べ人数。（）内は変異株スクリーニング検査数

5) ウイルス性食中毒・集団胃腸炎発生原因検査

拭き取り及び食品検体からのノロウイルス遺伝子検出について、TaqManリアルタイムPCR法により検査を行った（食品関係 表4）。

6) 新型インフルエンザにおける抗インフルエンザ薬剤耐性検査

令和3年度末及び令和4年度中はインフルエンザウイルスAH1pdm09型が分離されなかったため、国立感染症研究所からの依頼に基づいた「新型インフルエンザの抗インフルエンザ薬剤耐性スクリーニング検査」は行わなかった。

7) 麻しん・風しん遺伝子検査

厚生労働省の通知に基づき、麻しん・風しん（疑い例を含む）患者発生時の全数検査を行っている。令和4年度は2人分5検体の搬入があった。麻しん・風しんウイルス遺伝子は不検出であった。

8) 動物由来感染症発生動向調査におけるウイルス等検査

県内で飼養されているイヌ及びネコから採取された血清及び付着ダニについて、岐阜県動物由来感染症情報関連体制整備検討会で決定された項目（トキソプラズマ抗体検査、SFTSウイルス抗体検査（血清）及び日本紅斑

熱リケッチア遺伝子検査, SFTS ウイルス遺伝子検査 (マダニ)) について検査を行った。

トキソプラズマ抗体検査では, イヌ 44 検体中 3 検体が陽性, ネコ 29 検体中 2 検体が陽性であった。一方, SFTS ウイルス抗体についてはイヌ 44 検体, ネコ 29 検体, 及び地域猫から採取した 33 検体全て抗体陰性であった。また, ネコに付着していたダニ 17 検体中 1 検体から日本紅斑熱リケッチア遺伝子が検出されたが, イヌに付着していたダニ 31 検体からは検出されなかった。SFTS 遺伝子については 48 検体全て不検出であった。

9) 厚生労働省外部精度管理事業

課題 1「新型コロナウイルスの次世代シーケンシング (NGS) による遺伝子の解読・解析」及び課題 2「新型コロナウイルスの核酸検出検査」に参加した。結果は, 配布された各課題 3 検体についてすべて正答であった。

[細菌関係]

1) 3 類感染症の検査

腸管出血性大腸菌 34 株について同定検査, 血清型別検査及び志賀毒素検査を実施した。血清型別検査の結果は, O157:H7 が 17 株, O26:H11 が 6 株, O145:H- が 5 株, O157:H- が 3 株, O111:H-, O121:H19, O8:H- が各 1 株であった。O8:H- については志賀毒素不検出であった。血清型 O157, O26, O111 については MLVA 解析を行った。

また, パラチフス A 菌 3 株及び赤痢菌疑い 1 株について同定検査, 血清型別検査を実施した。赤痢菌疑い株については, 生化学性状試験及び病原因子遺伝子検査を実施し, 赤痢菌を否定した。

2) 3 類感染症の接触者検便

岐阜, 関両保健所管内の腸管出血性大腸菌感染症の接触者の検便 15 検体の検査を実施し, 1 検体から O145:H- の腸管出血性大腸菌が検出された。また関保健所管内のパラチフスの接触者の検便 37 検体の検査を実施した。いずれの検体からもパラチフス A 菌は検出されなかった。

3) 感染症発生動向調査事業による細菌検査

県内の感染症の流行状況を把握するための検査を実施した (表 3)。なお, 検査の一部は国立感染症研究所へ依頼した。

4) レジオネラ属菌汚染状況調査

岐阜 (本巣・山県センターを含む), 関 (郡上センターを含む) 保健所管内の入浴施設等の浴槽水及びシャワー水 25 検体について培養検査 (大腸菌群, 一般細菌数, レジオネラ属菌) を実施した。また, 県内入浴施設の浴槽水 15 検体に由来するレジオネラ属菌 93 株について, 合わせて同定検査及び血清型別検査を実施した。その結果, 19 検体から *Legionella pneumophila* が検出された。検出された *L. pneumophila* の血清型は, 血清群 1 (9 検体), 血清群 6 (8 検体) が多かった。

5) レジオネラ症患者発生に伴う検査

レジオネラ症患者発生時の感染源調査として, 入浴施設の浴槽及びシャワー水 13 検体 (3 施設) についてレジオネラ属菌検査 (レジオネラ属菌及び pH) を実施した。また, 保健所から搬入されたレジオネラ属菌 82 株 (5 施設 12 検体分) について同定検査及び血清型別検査を実施した。これらの結果, 15 検体 (6 施設) から *L. pneumophila* が検出され, 血清型は血清群 6 (5 検体), 血清群 3 (4 検体) が多かった。また, 迅速検査法として 47 検体 (12 施設) について LAMP 法を実施した。その結果, 21 検体 (8 施設) からレジオネラ属菌遺伝子が検出された。

6) 不明疾患

該当する検査依頼はなかった。

7) 結核菌の検査

該当する検査依頼はなかった。

- 8) 無菌試験
医療機器一斉監視指導に係わる収去検査依頼はなかった。
- 9) 院内感染対策を目的とした多剤耐性菌検査
県内の医療機関で検出されカルバペネマーゼ産生が疑われた *Enterobacter cloacae* complex 2 株の検査を実施した。両株ともに、既知のカルバペネマーゼ遺伝子は検出されなかった。
- 10) 細菌性食中毒事例に係る解析
飲食店が原因と疑われた 2 事例の腸管出血性大腸菌 O157:H7 の 5 株について、MLVA による疫学解析を行った。
- 11) 厚生労働省外部精度管理事業
国立感染症研究所外部精度管理事業事務局から配布された 3 つのブラインド検体について、コレラ菌を対象として生化学性状試験による同定、血清型別試験、遺伝子検査を行った。
- 12) その他の外部精度管理事業
日水製薬株式会社レジオネラ属菌検査精度管理サーベイ事務局より送付された 1 検体についてレジオネラ属菌の検査を実施した。

表 3 発生動向調査（細菌担当分）検査状況

感染症類型	症例数 (検体数)	病原体検出 症例数	検出病原体（遺伝子検出含む） ()内は検出症例数
2類 ジフテリア症疑い	1 (1)	0	
4類 レジオネラ症	2 (2)	2	<i>Legionella pneumophila</i> SG1 (2)
5類全数 カルバペネム耐性腸内細菌科 細菌感染症	13 (13)	13	<i>Escherichia coli</i> NDM-7 メタロ・β-ラクタマーゼ産生菌 (1) <i>Enterobacter cloacae</i> IMP-1 メタロ・β-ラクタマーゼ産生菌 (1) <i>Klebsiella aerogenes</i> (4) <i>Klebsiella pneumoniae</i> (3) <i>Enterobacter cloacae</i> (2) <i>Serratia marcescens</i> (1) <i>Escherichia coli</i> (1)
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1 (1)	1	<i>Streptococcus pyogenes</i> T型別不能 (1)
侵襲性肺炎球菌感染症	1 (1)	1	<i>Streptococcus pneumoniae</i> 血清型35B (1)
5類定点 感染性胃腸炎	1 (1)	0	
その他 エルシニア感染症	1 (1)	1	<i>Yersinia enterocolitica</i> 03群

合計	20 (20)	18	
----	---------	----	--

【食品関係】

1) 牛乳等成分規格検査

牛乳等製造施設を対象に収去された乳製品 62 検体（牛乳 42 検体，乳飲料 20 検体）の成分規格検査を実施したところ，すべて成分規格に適合していた。

2) 食品中の残留農薬等検査事業に伴う食品収去検査

県内に流通する輸入農産物及び加工食品を対象に収去されたナチュラルチーズ 5 検体のリステリア・モノサイトゲネス検査を実施したところ，すべて成分規格に適合していた。

3) 県内製造食品の細菌汚染実態調査事業に伴う食品検査

県内で製造販売された食品を対象に買い上げた生菓子 26 検体（洋生菓子 13 検体，和生菓子 13 検体）について一般細菌数，大腸菌群及び黄色ブドウ球菌の検査を実施したところ，5 検体は洋生菓子の旧衛生規範を満たさなかった（一般細菌数 2 検体，大腸菌群 4 検体，黄色ブドウ球菌 2 検体，重複あり）。また洋生菓子 13 検体についてサルモネラ属菌及び腸管出血性大腸菌 O26，O103，O111，O121，O145，O157 の検査を実施したところ，すべて陰性であった。

4) 食中毒関連検査

管内で発生した食中毒（疑い含む）事例に関する一次検査及び県内（岐阜市を除く）事例における原因物質究明のための確認・同定検査を実施した（表 4）。

5) 食品衛生外部精度管理調査

（一財）食品薬品安全センターにおける食品衛生外部精度管理に参加した。令和4年度は，一般細菌数，E. coli を行った。

6) HIV 抗原抗体検査及び梅毒抗体検査

岐阜保健所で行われた HIV 抗原抗体検査及び梅毒抗体検査について 26 検体の検査を行った。

表 4 食中毒関連検査

一次検査 (11 事例)			食品	拭き取り	従事者便	有症者便	その他	計
	検体数			10	80	57	17	0
検査項目	既知食中毒起因菌		3	61	49	17	0	130
	ノロウイルス		8	26	57	17	0	108
確認・同定検査 (23 事例)	原因物質		検体種別		検体数	検査項目		
	ノロウイルス		糞便等 (RNA 抽出液)		25	遺伝子型別		
	カンピロバクター		菌株		11	遺伝子検査 馬尿酸塩加水分解試験		
	黄色ブドウ球菌		菌株		10	遺伝子検査，エンテロトキシン		
	サルモネラ属菌		菌株		5	血清型別		
	病原性大腸菌		検体増菌培養液等		67	病原因子スクリーニング		
			菌株		5	病原因子・血清型別		
合計				123				

3.3 生活科学部

3.3.1 調査研究

1) カンナビノイドの分析方法に関する検討

(令和4年度～令和5年度)

平成13年から実施している大麻行政検査は、検査結果の正確性、迅速性が求められる。従来の検査方法から、正確性を損なうことなく、検査時間を短縮し、コストの削減を図るため、分析方法を再検討し、併せてカンナビノイドの分析条件を確認する。令和4年度は、抽出条件及び各種文献による分析条件の比較検討を行った。

2) 岐阜危険ドラッグ解析技術連携協議会

岐阜薬科大学との連携大学院に関わる研究活動の充実と推進の一環として、「岐阜危険ドラッグ解析技術連携協議会（平成26年11月設立）」において危険ドラッグの解析技術に関する連携協力体制を整備してきた。令和4年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため、岐阜危険ドラッグ解析技術連携協議会の開催は中止した。

3) 連携大学院

岐阜危険ドラッグ解析技術連携協議会の実質的な運用面から、岐阜薬科大学から研修生（学部学生）を受け入れ研究指導を行った。令和4年度は、*in vitro* 実験系及びLC-MS等を用いて、危険ドラッグ代謝物の測定系の開発を行うとともに、代謝機構の解明を試みた。

3.3.2 行政検査

[薬品関係]

1) 医薬品等一斉取締における規格試験

国が指定した医療用医薬品について、県内の医薬品卸売販売業者から提供を受けた錠剤18製品（先発医薬品2製品、後発医薬品16製品）の溶出試験を実施した。その結果、全て規格に適合していた。

2) 県内薬局の薬局製剤収去による定性試験

県内の薬局から収去した薬局製剤1製品2項目について検査を実施した。

3) 医薬品等の公的認定試験検査機関における品質管理監督システムの確認

薬務水道課が当所における医薬品等の公的認定試験検査について、ラボツアー及び書面調査により組織、職員、構造設備、手順書等、取り決め、試験検査、試験検査の成績書の発行、試験方法の妥当性確認、変更の管理、逸脱の管理、試験検査結果等の妥当性に関する情報及び不良等の処理、自己点検、教育訓練、文書及び記録の管理、監督の状況を確認した。試験検体の受領方法について指導があった。

4) 医療機器一斉監視指導における収去検査

令和4年度は医療機器の収去検査は実施しなかった。

5) 知事承認医薬品等の審査

知事に承認権限が委譲された医薬品及び医薬部外品の審査業務のうち、薬務水道課から医薬品9件、医薬部外品2件の依頼があり、「規格及び試験方法」及び「試験結果の妥当性」について確認を行った。

6) 健康食品情報受発信・相談応需事業における買い上げ検査

いわゆる健康食品と称する無承認無許可医薬品の監視として、県内のドラッグストアから買い上げられた痩身効果を標ぼう、暗示又は印象を与える11製品及び男性機能の増強又は回復を標ぼう、暗示又は印象を与える13製品について、成分検査を実施した。痩身効果を標ぼう、暗示又は印象を与える製品については、マジンドール、フェンフルラミン、オリスタット、ヒドロクロロチアジド等18項目（延べ198項目）、男性機能の増強又は回復を標ぼう、暗示又は印象を与える製品については、ヨヒンビン、シルデナフィル、バルデナフィル、タダラフィル等11項目（延べ143項目）の検査を実施した。その結果、3製品からバルバロイン、4製品からセンノシドが検出された。

7) 大麻草の有毒成分等の試験

県内大麻草栽培者から種子採取用に残された大麻草 158 検体を収去した. 幻覚成分である Δ9-テトラヒドロカンナビノール及び幻覚作用を有しないカンナビジオール (定量試験等 316 項目) の測定を実施した.

8) 都道府県衛生検査所等における外部精度管理

カルベジロール錠 1 製品について, カルベジロールの定量試験及び純度試験を実施した.

[生活衛生関係]

1) 家庭用品試買検査

県内で販売されている繊維製品, 家庭用洗剤など家庭用品 49 検体について, 有害物質の含有量試験等延べ 57 項目の検査を実施した (表 5). その結果, 全て基準に適合していた.

表 5 家庭用品検査内訳

検 体		検体数	検査項目	延べ項目数
乳幼児用繊維製品	よだれ掛け	9	ホルムアルデヒド	38
	下着	7		
	寝衣	4		
	くつした	6		
	中衣	3		
	外衣	2		
	帽子	3		
	寝具	4		
乳幼児用以外の 繊維製品	くつした	3	ホルムアルデヒド	9
	下着	4		
	寝衣	2		
家庭用洗剤		2	水酸化カリウム又は水酸化ナトリウム, 容器試験 (漏水試験, 落下試験, 耐アルカリ性試験, 圧縮変形試験)	10
合 計		49		57

2) 衛生害虫関係の検査

県内保健所から依頼を受けて衛生害虫等 4 検体の同定検査を実施した (表 6) .

表 6 衛生害虫等の同定検査内訳

分類群名	検体数	同定された種
昆虫		
ハチ目	1	オオハリアリ
カメムシ目	1	アブラムシ科の一種
その他の節足動物		
ダニ目	2	タカサゴキアラマダニ タカサゴキアラマダニである可能性が高い

3) 特定外来生物の同定検査

県内で発見された特定外来生物 (疑いを含む) 176 検体の同定検査を実施した (表 7) .

表7 特定外来生物の同定検査内訳

検体	検体数	結果
アルゼンチンアリ疑い	153	うち60検体がアルゼンチンアリであり、 35検体がアルゼンチンアリである可能性が高い
セアカゴケグモ疑い	1	セアカゴケグモである可能性が高い
ヒアリ・アカカミアリ疑い	22	ヒアリ・アカカミアリでない

4) 感染症媒介蚊関係の検査

デング熱等の蚊媒介感染症対策の一環として、ヒトスジシマカの季節的推移等の発生状況を把握するため、調査地点（当研究所敷地内）において、5月中旬から10月末にかけて2週間おきにライト/CO₂トラップにより蚊を捕獲、計数した（表8）。

表8 調査地点における感染症媒介蚊生息実態調査の結果内訳

調査日	ヒトスジシマカ		その他の蚊
	♀	♂	
令和4年 5月10日～ 5月11日	0	2	69
令和4年 5月24日～ 5月25日	32	4	48
令和4年 6月 7日～ 6月 8日	36	3	50
令和4年 6月21日～ 6月22日	28	1	33
令和4年 7月 5日～ 7月 6日	51	1	22
令和4年 7月19日～ 7月20日	28	0	12
令和4年 8月 2日～ 8月 3日	34	4	2
令和4年 8月16日～ 8月17日	17	0	5
令和4年 8月30日～ 8月31日	18	1	6
令和4年 9月13日～ 9月14日	56	4	2
令和4年 9月27日～ 9月28日	9	0	7
令和4年10月11日～10月12日	25	0	11
令和4年10月25日～10月26日	1	0	0

5) クロバネキノコバエ実態調査

クロバネキノコバエに対する忌避剤の有効性を確認することを目的として、忌避剤効力試験を実施した。考案した3つの試験方法により忌避剤2製品を用いて試験を行ったが、忌避剤の効果を確認できる結果は得られなかった。

3.4 環境科学部

3.4.1 調査研究

1) 災害等緊急時に適用可能な GC/MS データベースの構築に関する研究

(令和2年度～令和4年度)

化学物質流出事案等の緊急時の環境調査手法として多成分の化学物質を一斉分析可能な全自動同定定量データベース(AIQS-DB)を用いた分析が注目されているが、既存のシステムでは動作機種が限定されておりデータの互換性がないこと、データベース登録物質が農薬等の一部化学物質に限られていること等から汎用性に乏しい。本研究では既存の AIQS-DB をベースに汎用性の向上(機種非依存の実現)と登録化合物の拡充を図ることで、災害時に適用可能な汎用 GC/MS データベースシステムの構築と、県内河川における化学物質の実態調査に適用することによる平常時の河川水中の化学物質動態の把握を目的としている。令和4年度は前年度までに取得したデータから、検出される化学物質の地点特性や季節変動等について整理・再解析を行った。

2) PAH キノン類と光化学オキシダントに関する研究

(令和2年度～令和4年度)

光化学オキシダント(Ox)の環境基準達成率は全国的にはほぼ0%であり、極めて低い達成状況が続いている。Oxの発生には、窒素酸化物(NOx)、揮発有機化合物(VOC)が関与しているといわれるが、これらが長期的に削減されつつある状況の中で、Ox濃度の低減は確認されていない。国内で広域的にこのような傾向が見られていることから、汚染物質の長距離輸送などが影響していると考えられるが、依然として不明な点が多く、情報は不足している。本研究では、多環芳香族炭化水素(PAH)の酸化物であるPAHキノン類に注目し、先行研究を参考にPM_{2.5}中のPAHキノン類の分析法を確立することを目的とする。また、PAHキノン類の中長期的なモニタリングデータを取得し、OxやNOx、PAHs、日射量等のデータとの関係性を解析し、PAHキノン類と光化学オキシダントに関する知見を得ることを目的とする。令和4年度では、2020年7月～2022年4月の期間に採取した126検体の分析を実施した。これにより得られたPAHキノン類の大気中濃度データを用いることで、各PAHキノン類の季節変動や濃度相関、後方流跡線解析を用いた流入起源による特異性を考察した。

3) 岐阜県内河川における放射能濃度に関する研究

(令和4年度～令和6年度)

岐阜県では大気浮遊塵、雨水、農産物などに含まれる放射能を測定している。しかし、地点数や対象媒体が少ない。平成25年及び26年にはその問題を解決すべく県内50地点の土壌放射能濃度測定を、平成25年から29年にかけて106地点の空間放射線量率測定を実施している。そこで、本研究では岐阜県内河川における放射能濃度を調査し、基礎的データを収集するとともに、地域特性を把握する。令和4年度は、20地点について調査を行った。

3.4.2 委託調査

1) 東アジア酸性雨モニタリング調査(環境省委託)

伊自良湖は東アジア酸性雨モニタリングネットワークの生態影響調査地点に指定されており、陸水調査、大気環境調査及び降下物調査を実施した(表9)。

表9 調査項目等の概要

調査名		地点	回数	調査項目	延項目数
陸水	湖沼水	2	年4回	pH, EC, アルカリ度, SO ₄ ²⁻ , NO ₃ ⁻ , Cl ⁻ , NH ₄ ⁺ , Na ⁺ , K ⁺ , Ca ²⁺ , Mg ²⁺ , Chl-a 等	475
	河川	2			
湿性降下物		1	1週間毎	pH, EC, SO ₄ ²⁻ , NO ₃ ⁻ , Cl ⁻ , NH ₄ ⁺ , K ⁺ , Na ⁺ , Ca ²⁺ , Mg ²⁺ , 雨量	543

乾性降下物	1	毎時測定	NO, NO ₂ , SO ₂ , O ₃ , PM _{2.5} , 気象データ (気温, 湿度, 風向, 風速, 日射量) 等	1,825
乾性降下物 (フィルターパック法)	1	2週間毎	NH ₃ , HNO ₃ , HCl, SO ₂ , SO ₄ ²⁻ , NO ₃ ⁻ , Cl ⁻ , NH ₄ ⁺ , K ⁺ , Na ⁺ , Ca ²⁺ , Mg ²⁺ 等	390

2) 化学物質環境実態調査 (環境省委託)

環境中に残留している可能性のある化学物質の実態を把握するため, 表 10 に示す調査を実施した.

表 10 化学物質環境実態調査の概要

調査名	調査地点	調査項目	検体数
モニタリング調査 (POPs条約対象物質等の経年的なモニタリング調査)	各務原市 (岐阜県保健環境研究所)	POPs等 11物質群	3

3) 環境放射能水準調査 (原子力規制委員会委託)

環境中における人工放射性物質の蓄積状況の把握及び住民の被曝線量の推定を主な目的として, 平成2年度から調査を実施している. 令和4年度における環境放射能測定の概要は表 11 のとおりである. また, 東日本大震災による東京電力福島第一原子力発電所事故 (福島原発事故) に伴うモニタリング強化の概要は表 12 のとおりであり, 異常値等は認められなかった.

表 11 環境放射能水準調査内訳

事業項目	測定地点数	測定対象	延測定回数	備考
全ベータ放射能測定調査	1	降水	54	降雨毎
核種分析調査	7	大気浮遊じん, 降下物, 土壌, 陸水 (蛇口水), 精米, 野菜, 茶, 牛乳	25	野菜は大根とホウレン草
モニタリングポストによる空間放射線量率調査	1	大気 (ガンマ線)	365 (連続)	

表 12 環境放射能水準調査内訳 (福島原発事故に伴うモニタリング強化)

事業項目	測定地点数	測定対象	延測定回数	備考
サーベイメータによる空間放射線量率調査	1	大気 (ガンマ線)	12	毎月1回

3.4.3 行政検査

[大気関係]

1) 大気環境監視テレメータシステム

県内 25 地点の大気環境自動測定局 (自動車排出ガス測定局 4 局を含む) において常時監視を行っている (表 13). 令和 4 年度の環境基準達成状況は, 二酸化硫黄, 浮遊粒子状物質及び二酸化窒素は測定している全ての測定局において基準を達成したが, 光化学オキシダントは, 前年度と同様に 19 局全てで環境基準 (1 時間値: 0.06 ppm 以下) を超過した. また, 微小粒子状物質 (PM_{2.5}) は有効測定局 18 局全てで環境基準 (1 年平均値: 15 μg/m³ 以下かつ, 1 日平均値: 35 μg/m³ 以下) を達成した. これら各測定局の毎時データは, インターネットで公開している.

表 13 大気環境測定局及び測定項目一覧表

地域	測定局名称	測定項目									
		二酸化硫黄	浮遊粒子状物質	窒素酸化物		光化学オキシダント	一酸化炭素	炭化水素		微小粒子状物質	風向風速
				一酸化窒素	二酸化窒素			非メタン	メタン		
岐阜	岐阜中央	○	○	○	○	○				○	○
	岐阜南部	○	○	○	○	○		○	○	○	
	岐阜北部	○	○	○	○	○				○	
	岐阜明德自排		○	○	○		○				
	各務原	○	○	○	○	○				○	○
	羽島	○	○	○	○	○				○	○
	本巣	○	○	○	○	○		○	○	○	○
西濃	大垣中央	○	○	○	○	○				○	○
	大垣南部	○	○	○	○	○					○
	大垣西部	○	○								
	大垣赤坂		○								
	大垣自排		○	○	○						○
	揖斐	○	○	○	○	○				○	○
中濃	関	○	○	○	○	○				○	○
	美濃加茂	○	○	○	○	○				○	○
	可児自排		○	○	○					○	○
	郡上	○	○	○	○	○				○	○
東濃	土岐自排		○	○	○		○			○	○
	瑞浪	○	○			○					○
	笠原	○	○	○	○	○				○	○
	恵那	○	○	○	○	○				○	○
	中津川	○	○	○	○	○				○	○
飛驒	高山	○	○	○	○	○				○	○
	下呂	○	○	○	○	○				○	○
	乗鞍	○	○	○	○	○					○

2) 大気汚染測定車による調査

大気汚染測定車「あおぞら号」により、大気環境自動測定局未設置地域の一般環境調査(表 14)を実施した。

表 14 一般環境調査地点

地域	調査地点	調査期間
中濃	富加町役場 (加茂郡富加町滝田 1511)	令和 4 年 5 月 16 日～10 月 3 日 10 月 17 日～ 1 月 9 日 令和 5 年 1 月 23 日～ 3 月 6 日

3) 微小粒子状物質の成分調査

本県市及び郡上市で、環境大気中の微小粒子状物質 (PM_{2.5}) を採取し、質量濃度、炭素成分、イオン成分及び無機元素の成分分析を行った (表 15)。

表 15 PM2.5 成分分析の概要

調査地点数	検体数	調査項目	延項目数
2	112	質量濃度, OC, EC, Cl ⁻ , NO ₃ ⁻ , SO ₄ ²⁻ , Na ⁺ , NH ₄ ⁺ , K ⁺ , Mg ²⁺ , Ca ²⁺ , Na, Al, K, Ca, Sc, Ti, V, Cr, Mn, Fe, Co, Ni, Cu, Zn, As, Se, Rb, Mo, Sb, Cs, Ba, La, Ce, Sm, Hf, W, Ta, Th, Pb, Cd	4,592

[水質関係]

1) 水質環境基準監視測定 (地下水)

水質汚濁防止法第 16 条第 1 項の規定による水質測定計画に基づいて環境基準項目の測定 (延べ項目数:1,277) を実施した結果、基準値を超過した件数は、地下水のメッシュ調査 (全項目) 43 地点において 1 件、汚染井戸周辺地区調査 (過去判明分) 2 地点において 0 件、定期モニタリング調査 66 地点において 45 件であった (表 16)。

表 16 地下水の水質基準監視測定の概要

県事務所等	メッシュ調査 (全項目) 地点数	汚染井戸周辺地区調査 (過去判明分) 地点数	定期モニタリング 調査地点数	延項目数
岐阜地域環境室	7	0	7	203
西濃県事務所	3	0	8	92
揖斐県事務所	5	0	0	140
中濃県事務所	6	0	6	175
可茂県事務所	7	0	11	207
東濃県事務所	3	2	18	106
恵那県事務所	7	0	5	201
飛騨県事務所	5	0	11	153
合計	43	2	66	1,277

2) 公共用水域水質検査 (河川定点調査・水浴場水)

水質汚濁防止法第 16 条第 1 項の規定による水質測定計画に基づいて生活環境項目等の測定 (延べ項目数:1,297) を実施した (表 17)。

表 17 公共用水域水質検査

事業	水域名	地点数	測定回数	検査項目	検体数	延項目数
河川 定点	木曾川	8	12	pH, BOD, COD, SS, 大腸菌数,	91	619
		2	4	ふん便性大腸菌群数, 全窒素,	8	42
	長良川	6	12	全リン, 全シアン, 六価クロム,	72	488
		4	4	クロロフィル α 等	16	76
水浴場	長良川	2	8	pH, COD, 0157 等	16	72
合計		22	40		203	1,297

3) 公害発生源立入に係る排水等水質検査

水質汚濁防止法及び公害防止条例に基づき特定事業場への立入検査の実施に伴う排水について、生活環境項目の一部を検査した(表18)。

表18 排水等の水質検査

事業項目	検体数	延項目数
公害発生源立入検査に伴う水質検査	2	8

4) 河川及び土壌・地下水の汚染事故等による水質調査

各務原市、大垣市、安八町、関市、可児市、多治見市、瑞浪市、中津川市、恵那市において、土壌・地下水汚染事故に係る周辺地下水検査(延件数：321件、延項目数：601)を実施した(表19)。

表19 土壌・地下水汚染事故に伴う周辺地下水質調査の概要

県事務所等	市町村	件数	延項目数	測定項目
岐阜地域環境室	各務原市	1	1	ふっ素
西濃県事務所	大垣市	191	382	六価クロム,鉛
	安八町	16	32	ふっ素,ほう素
中濃県事務所	関市	5	5	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素
可茂県事務所	可児市	41	82	ひ素,鉛
東濃県事務所	多治見市	2	2	ひ素
	瑞浪市	2	2	セレン
	多治見市	26	52	ひ素,ふっ素
	多治見市	4	8	ひ素,セレン
	多治見市	4	4	六価クロム
	多治見市	2	4	ひ素,ふっ素
	恵那県事務所	中津川市	15	15
	恵那市	4	4	ひ素
	恵那市	1	1	鉛
	恵那市	7	7	ひ素
合計		321	601	

[廃棄物関係]

1) リサイクル認定製品調査

岐阜県リサイクル認定製品について、社会的信頼性の確保に必要な安全性を確認するため、既認定製品及び新規認定製品についての溶出検査を実施した結果、全ての製品が環境基準を満たしていた(表20)。

表20 リサイクル認定製品の調査概要

製品の種類	検体数	延項目数
既認定製品	2	22
新規認定製品	41	444
合計	43	466

2) 産業廃棄物最終処分場の水質検査

廃棄物最終処分場水質検査計画に基づき産業廃棄物最終処分場1施設の浸透水等の検査を実施した(表21)。

表21 浸透水等の水質検査

事業項目	検体数	延項目数
------	-----	------

産業廃棄物処分場水質検査	25	122
--------------	----	-----

[微量化学物質関係]

1) ダイオキシン類モニタリング調査

ダイオキシン類対策特別措置法第 26 条第 1 項の規定に基づき、県内の環境大気、河川水、地下水及び河川底質及び土壌中のダイオキシン類を測定した結果、追跡調査 1 地点において環境基準を超過していることが確認された (表 22)。

表 22 ダイオキシン類モニタリング調査

調査内容		地点数	検体数
一般調査	環境大気	3	6
	河川水	1	1
	河川底質	1	1
	地下水	3	3
	発生源周辺土壌	3	3
追跡調査	河川水	2	8
	河川底質	2	2
合 計		15	24

[その他]

1) 環境測定分析統一精度管理調査

環境省主催の環境測定分析統一精度管理調査へ参加した。令和 4 年度は模擬水質試料の分析を実施した。

3.5 食品安全検査センター

3.5.1 調査研究

1) 食品の異臭事案における検査プロセスの構築

(令和 4 年度～令和 6 年度)

不良食品事案については、消費者の食の安全の確保及び健康被害を防ぐ観点から迅速な原因究明、効果的な行政指導が求められている。当所では、異物混入事案に対して「食品中に混入した異物の検査法について」(H27～29 年度)により検査法を確立し、迅速正確な異物混入事案への対応を可能とした。今回、異臭についての検査プロセスの構築を目的とし、異臭事案で想定される検体について、前処理法についての検討、GC/MS の分析条件の検討及び評価を行うこととした。令和 4 年度は、異臭苦情の原因になり得る代表的な物質について調査するとともに、GC/MS の分析データの収集・解析に着手した。

3.5.2 行政検査

1) 残留農薬検査

(国産農産物)

令和 4 年度は県内産農産物及び牛乳 51 検体、県外産農産物 3 検体の計 54 検体について計 10,256 項目の検査を実施した。その結果、いずれの検体からも基準値を上回る農薬は検出されなかった (表 23)。

表 23 残留農薬の検査結果 (国産農産物)

試料名	検体数	検査項目数	検査結果
県内産野菜	35	7,385	アセタミプリド(0.008～0.027 ppm/2 検体), イミダクロプリド(0.015～0.59 ppm/2 検体), フルフェキサゾン(0.031～0.45 ppm/2 検体)
県内産果実	8	1,688	アセタミプリド(0.085 ppm/1 検体), クロチアニジン(0.006～0.066 ppm/3 検体), テブコナゾール(0.010～0.017ppm/2 検体), ポスカド(0.017 ppm/1 検体)

県内産穀類	2	422	不検出
県内産牛乳	4	16	不検出
県内産 茶	2	112	不検出
県外産農産物	3	633	クロチアニジン(0.007 ppm/1検体)

(ppm: mg/kg)

(輸入農産物)

野菜 40 検体, 果実 23 検体, 豆類 3 検体の計 66 検体について計 13,926 項目の残留農薬の検査を実施した。その結果, いずれの検体からも基準値を上回る農薬は検出されなかった (表 24)。

表 24 残留農薬の検査結果 (輸入農産物)

試料名	検体数	検査項目数	検査結果
アスパラガス	3	633	不検出
アボカド	2	422	アゾキシストロピン(0.011 ppm/1 検体), イミダクロプリド(0.012 ppm/1 検体)
インゲン	2	422	アゾキシストロピン(0.010 ppm/1 検体), イミダクロプリド(0.014 ppm/1 検体)
エダマメ	4	844	アセタミプリド(0.008~0.026 ppm/3 検体), アゾキシストロピン(0.037~0.045 ppm/3 検体), インドキサカルブ(0.011 ppm/1 検体), ビフェントリン(0.01~0.02 ppm/2 検体), フェンピロキシメート(0.007~0.008 ppm/2 検体)
オクラ	4	844	不検出
オレンジ	7	1,477	アゾキシストロピン(0.60 ppm/1 検体), イミダクロプリド(0.017 ppm/1 検体), クロチアニジン(0.005 ppm/1 検体), ビリプロキシフェン(0.018 ppm/1 検体)
カボチャ	3	633	イミダクロプリド(0.015 ppm/1 検体)
カリフラワー	1	211	不検出
キウイ	3	633	不検出
グレープフルーツ	3	633	2,4-D(0.007 ppm/1 検体), イミダクロプリド(0.076 ppm/1 検体), カルバリル(0.023 ppm/1 検体), ピラクrostロピン(0.047 ppm/1 検体), ビリプロキシフェン(0.025 ppm/1 検体)
ゴボウ	2	422	不検出
大豆	2	422	テトラコナゾール(0.026 ppm/1 検体)
ニラ	1	211	クロチアニジン(0.68 ppm/1 検体), シハトリソリン(0.05 ppm/1 検体)
ニンジン	2	422	トリアジメノール(0.02 ppm/1 検体)
ニンニク	4	844	不検出
ネギ	1	211	ジメトモルフ(0.008 ppm/1 検体)
パイナップル	4	844	不検出
バター豆	1	211	不検出
バナナ	2	422	クロルピリホス(0.03 ppm/1 検体)
パプリカ	3	633	アセタミプリド(0.096 ppm/1 検体), クレソキシムメチル(0.006 ppm/1 検体), クロチアニジン(0.009~0.036 ppm/2 検体), クロルフェナピル(0.11 ppm/1 検体), チアメトキサム(0.006 ppm/1 検体), テトラコナゾール(0.059 ppm/1 検体), ノバルロン(0.054 ppm/1 検体), ボスカリド(0.056 ppm/1 検体)
ブルーベリー	1	211	ビフェントリン(0.06 ppm/1 検体), ボスカリド(0.035 ppm/1 検体)
ブロッコリー	5	1,055	アゾキシストロピン(0.006 ppm/1 検体), ピラクrostロピン(0.006 ppm/1 検体)
ホウレンソウ	3	633	イミダクロプリド(0.015~0.14 ppm/2 検体), ジメトモルフ(0.055 ppm/1 検体)
レモン	3	633	2,4-D(0.025 ppm/1 検体), アゾキシストロピン(0.64~1.0 ppm/2 検体), ジフルベンズロン(0.033 ppm/1 検体), ビリプロキシフェン(0.013 ppm/1 検体), フェンピロキシメート(0.009 ppm/1 検体), プロピコナゾール(0.16 ppm/1 検体), ヘキシチアゾクス(0.007 ppm/1 検体)

(ppm: mg/kg)

2) 防かび剤

オルトフェニルフェノールやチアベンダゾール等は、米国等において収穫後にポストハーベスト農薬として使用されているが、わが国ではポストハーベスト農薬の使用は認められておらず、柑橘類やバナナ等の果実に対して収穫後のかびの防除を目的とする食品添加物として承認されている。現在、わが国で食品添加物として指定されている9種類の防カビ剤のうち、残留農薬検査の項目であるアズキシストロビン、プロピコナゾール及びばいれいしょのジフェノコナゾールを除く6種類の防カビ剤の検査を実施したところ、いずれも使用基準に適合していた(表25)。

表25 輸入果実の防かび剤検査結果

試料名	原産国	検体数	検査項目数	検査結果
オレンジ	オーストラリア	3	18	イマザリル(0.7~0.9 ppm/3検体), チアベンダゾール(0.4 ppm/3検体), ピリメタニル(1.5~1.6 ppm/2検体), フルジオキシニル(0.2~0.8 ppm/3検体)
バナナ	フィリピン	1	6	不検出
レモン	チリ	1	6	イマザリル(0.7 ppm/1検体), チアベンダゾール(0.1 ppm/1検体), フルジオキシニル(2.3 ppm/1検体)
計		5	30	

(ppm: mg/kg)

3) 残留動物用医薬品

(国産畜水産物)

県内で製造されている牛乳8検体について、テトラサイクリン類(オキシテトラサイクリン、クロルテトラサイクリン、テトラサイクリン)の検査を実施したところ、すべて不検出であった。

鶏卵9検体(県内産)について、サルファ剤5種(スルファチアゾール、スルファメラジン、スルファジミジン、スルファモノメトキシシ、スルファジメトキシシ)の残留検査を実施したところ、すべて不検出であった。

4) アフラトキシン

牛乳4検体のアフラトキシン M₁(アフラトキシン B₁の代謝物)についての検査を実施したところ、いずれの食品からも検出されなかった。

5) 重金属

県内で生産された玄米3検体についてカドミウムの検査を実施した。すべて不検出であり、成分規格(0.4 ppm以下)に適合していた。

6) PCB

鶏卵2検体の検査を実施したところ、いずれも不検出であった。

7) 食品添加物検査

県内に流通する輸入食品97検体を含む計323検体、延べ3,442項目について、添加物の使用実態を把握するために収去検査を実施した。その結果、保存料の使用基準違反が1検体、甘味料の使用基準違反が1検体判明した(表26)。

表 26 食品添加物検査の概要

検 査 項 目			検体数	項目数	
食品添加物	保存料	ソルビン酸	238	238	
		安息香酸	238	238	
		デヒドロ酢酸	238	238	
		パラオキシ安息香酸エステル類	238	1,190	
		プロピオン酸	2	2	
	甘味料	サッカリンナトリウム	107	107	
		アセスルファムカリウム	107	107	
		アスパルテーム	107	107	
		サイクラミン酸	11	11	
	着色料	許可色素 12 種類	74	888	
		許可外色素 4 種類	74	296	
	発色剤	亜硝酸ナトリウム	14	14	
	酸化防止剤 等	亜硫酸塩類	—	—	
		<i>tert</i> -ブチルヒドロキノン	6	6	
	計			1,454	3,442

8) 遺伝子組換え食品検査

安全性未審査の遺伝子組換え体について、トウモロコシ穀粒（9 検体）及びトウモロコシ加工品（7 検体）の検査を実施したところ、いずれも遺伝子組換え陰性であった。安全性審査済みの遺伝子組換え体について、ダイズ加工品（7 検体）及びその原材料のダイズ穀粒（8 検体）の検査を実施したところ、ダイズ加工品はすべての検体で遺伝子組換え陽性となった。ダイズ穀粒は 4 検体で遺伝子組換え陽性であった。

9) 特定原材料（アレルギー物質）検査

表示にない特定原材料の混入の有無について、落花生（10 検体）、乳（11 検体）及び卵（13 検体）の検査を実施した。いずれも特定原材料は全て陰性（10 μ g/g 未満）であったが、微量に検出された事例が 4 検体あった。

10) 放射性物質検査

東京電力福島第一原子力発電所の事故を受け、平成 23 年度から県内に流通する食品の放射性物質の検査を実施している。令和 4 年度は、県内に流通する東日本産農畜水産物（20 検体）及び県内産畜水産物（原乳（4 検体）及び茶（2 検体））について放射性セシウムの検査を実施したところ、すべて不検出であった。

11) 異物等不良食品に伴う検査

消費者から相談のあった不良食品や学校給食における異物混入等の 8 事案について、精密検査を実施した（表 27）。

表 27 異物等検査概要

不良事由	実施事案数
異物	6
異味	0
異臭	2
計	8

12) 浴槽水等検査

レジオネラ属菌汚染状況調査に伴う浴槽水等（25 検体）の水質検査（pH、電気伝導率、色度、濁度、過マンガン酸カリウム消費量）を実施した。

13) 食品衛生外部精度管理調査

(一財) 食品薬品安全センターにおける食品衛生外部精度管理に参加し、理化学検査（食品添加物検査，残留農薬検査，特定原材料検査）について実施した。

14) その他行政検査

令和5年1月，岐阜保健所管内で，クワズイモと疑われるイモを喫食した2名のうち1名が，口の中全体に針で刺されたような痛みを呈した。当研究所において，販売品，未調理残品および調理済残品を形態鑑定したところ，外観はクワズイモとは異なり，サトイモの形状と一致した。クワズイモの有毒成分であるシュウ酸カルシウムはサトイモにも少量含まれるため，サトイモの個体差や喫食者の体調等により症状を呈したと考えられた。

3.5.3 依頼検査

令和4年度は，検査の依頼はなかった。

4 技術指導及び支援

4.1 保健所職員等の研修

年月日	研修内容	受講者	担当部署
R4. 4. 25	令和4年度感染症・食中毒疫学研修会(Web開催)	保健所職員等 (13名)	疫学情報部
7. 6	第1回保健所試験検査担当者研修会(Web開催)	保健所職員等 (21名)	疫学情報部
R5. 1. 31	第2回保健所試験検査担当者研修会(Web開催)	保健所職員等 (17名)	疫学情報部
3. 28	第3回保健所試験検査担当者研修会(書面開催)	保健所職員	疫学情報部

4.2 講師派遣

「研修講師等」

年月日	内容	場所	受講者	担当者
R4. 8. 18	第17回市民公開講座～性感染症の最近のトピックスについて学ぼう！～	Web開催 (岐阜市)	看護学校の学生, 養護教諭, 保健所職員, 医療関係者等	岡(隆)
8. 23	令和4年度統一精度管理事業第1回事務担当者のための技術研修会	Web開催	岐阜県環境計量証明事業協会 会員 (12名)	佐々木
10. 5～6	令和4年度薬剤耐性菌の検査に関する研修 基本コース	Web開催 (東京都)	地方衛生研究所職員	野田
10. 19～21	国立保健医療科学院「細菌研修」	東京都	地方衛生研究所職員	水野
11. 4	健康危機管理事業を想定した植物毒の一斉分析法について 「令和4年度地方衛生研究所全国協議会近畿支部自然毒部会研究発表会」	Web開催 (京都府)	国立医薬品食品衛生研究所職員, 地方衛生研究所職員, 自治体関係者	南谷
R5. 2. 9	令和4年度統一精度管理事業第2回事務担当者のための技術研修会	Web開催	岐阜県環境計量証明事業協会 会員 (15名)	佐々木

4.3 研修生の受入

年月日	研修内容	受講者	担当者
R4. 4. 1～ R5. 3. 31	危険ドラッグ代謝物の測定系の開発, 代謝機構の解明	岐阜薬科大学薬学部3名	生活科学部

4.4 技術支援(現場での指導等)

年月日	研修内容	受講者	担当者
R4. 7. 26～ R5. 3. 22	岐阜県医薬品等GXP研究会 ・教育訓練について, 医薬品品質システムについて, 外部委託業者の管理について	岐阜県医薬品等GXP研究会	岩木

4.5 来所者等への個別指導

所属機関	疫学情報部	保健科学部	生活科学部	環境科学部	食品安全検査センター
県関係		2			2
市町村					1
その他*			1	1	3
計		2	1	1	6

*民間検査機関, 製造業者等を含む。

5 行 事

5.1 会議等

年 月 日	会 議 名	場 所
R4. 4. 6	食品収去事業担当者打合せ	Web 開催
4. 8	保健所等関係課長会議	Web 開催
4.20	生活衛生関係係長会議	Web 開催
4.20	令和4年度 第1回感染症発生動向調査部会	岐阜市
5.10	カンピロバクター定量試験法コラボスタディ打合せ会議	Web 開催
5.13	試験検査係長会議	Web 開催
5.18	令和4年度 第2回感染症発生動向調査部会	岐阜市
5.27	令和4年度厚生労働科学研究費補助金「自然毒等のリスク管理のための研究」 第1回研究会議	Web 開催
6. 8	全国環境研協議会第1回理事会	Web 開催
6.15	第17回岐阜県コロナウイルス感染症対策調整本部	Web 開催
6.15	令和4年度 第3回感染症発生動向調査部会	岐阜市
6.20	薬剤耐性菌レファレンスセンター会議	Web 開催
6.21	新興・再興感染症及び予防接種政策推進研究事業「環境水を用いた新型コロナウイルス監視体制の構築に関する研究」第1回班会議	Web 開催
6.28	AMED「薬剤耐性菌のサーベイランス強化および薬剤耐性菌の総合的な対策に資する研究」第一回班会議	Web 開催
7. 4	令和3年度環境測定分析統一精度管理調査結果説明会	Web 開催
7. 8	全環研東海・近畿・北陸支部役員会	Web 開催
7.12	II型共同研究（水質）キックオフ会合	Web 開催
7.19	第18回岐阜県コロナウイルス感染症対策調整本部	Web 開催
7.20	令和4年度 第4回感染症発生動向調査部会	岐阜市
7.29	令和4年度環境測定分析統一精度管理東海・近畿・北陸支部ブロック会議	Web 開催
8. 5	第19回岐阜県コロナウイルス感染症対策調整本部	Web 開催
8. 9	清流の国ぎふデータヘルス推進会議	Web 開催
8.17	東海地区環境試験研究機関所長会議	書面開催
8.24	令和4年度 第5回感染症発生動向調査部会	岐阜市
9. 1~2	II型共同研究（大気）キックオフ全体会合	Web 開催
9. 2	新興・再興感染症及び予防接種政策推進研究事業「環境水を用いた新型コロナウイルス監視体制の構築に関する研究」第2回班会議	Web 開催
9. 9	全国環境研協議会東海・近畿・北陸支部総会	Web 開催
9.21	令和4年度 第6回感染症発生動向調査部会	岐阜市
9.29	地域保健総合推進事業地方衛生研究所東海・北陸ブロック理化学部門専門家 会議	Web 開催
10.14	地方衛生研究所全国協議会 東海・北陸支部 保健情報疫学部会	Web 開催
10.14	リサイクル認定製品認定審査付託検討会議	岐阜市
10.19	令和4年度 第7回感染症発生動向調査部会	岐阜市
10.21	第59回全国薬事指導協議会総会	Web 開催
11. 8	地方衛生研究所東海・北陸ブロック地域レファレンスセンター連絡会議	Web 開催
11.16	令和4年度 第8回感染症発生動向調査部会	岐阜市
11.21	新興・再興感染症及び予防接種政策推進研究事業「環境水を用いた新型コロナウイルス監視体制の構築に関する研究」第3回班会議	Web 開催

12. 5	全国環境研協議会第2回理事会	Web 開催
12. 15	東海地区環境試験研究機関大気騒音分科会	岐阜市
12. 21	令和4年度 第9回感染症発生動向調査部会	岐阜市
R5. 1. 18	令和4年度 第10回感染症発生動向調査部会	岐阜市
1. 23	清流の国ぎふデータヘルス推進会議	Web 開催
1. 23~24	令和4年度 化学物質環境実態調査環境科学セミナー	Web 開催
1. 27	令和4年度東海地区環境試験研究機関会議 水質・化学物質分科会	三重県
2. 3	第51回全国環境研協議会総会	Web 開催
2. 3	令和4年度地方公共団体環境試験研究機関等所長会議	Web 開催
2. 9	第42回地方環境研究所と国立環境研究所の協力に関する検討会	Web 開催
2. 9~10	第38回全国環境研究所交流シンポジウム	Web 開催
2. 15	令和4年度 第11回感染症発生動向調査部会	岐阜市
2. 17	II型共同研究(水質)全体会合	Web 開催
3. 1	新興・再興感染症及び予防接種政策推進研究事業「環境水を用いた新型コロナウイルス監視体制の構築に関する研究」第4回班会議	Web 開催
3. 9~10	II型共同研究グループ会合(大気)	奈良県
3. 14	AMED「薬剤耐性菌のサーベイランス強化および薬剤耐性菌の総合的な対策に資する研究」第二回班会議	Web 開催
3. 15	令和4年度 第12回感染症発生動向調査部会	岐阜市
3. 22	第1回保健所等所長会議	Web 開催
3. 23	全環研東海・近畿・北陸支部有害化学物質部会	書面開催
3. 29	II型共同研究グループ会合(大気)	Web 開催

5.2 研修会等

年月日	研修名	場所
R4. 4. 25	令和4年度感染症・食中毒疫学研修会(Web開催)	Web 開催
4. 26	食品収去担当者説明会	Web 開催
5. 16~6. 1	令和4年度医薬品医療機器の品質確保に関する研修	Web 開催
5. 20	感染研シンポジウム	Web 開催
6. 22	第46回環境研究合同発表会	Web 開催
6. 30~7. 1	衛生微生物技術協議会第42回研究会	Web 開催
7. 8	NPO 浴衛協第39回レジオネラ対策シンポジウム	Web 開催
7. 14	イオンクロマトグラフカスタマートレーニング	神奈川県
7. 29	サル痘に関する研修会	Web 開催
8. 25~26	食品微生物学会技術セミナー	大阪府
10. 5~6	令和4年度薬剤耐性菌の検査に関する研修 基本コース	Web 開催
10. 20	第66回岐阜県公衆衛生研修会	Web 開催
10. 25~26	バイオセーフティ技術講習会基礎コース(第49期)	Web 開催
11. 2		千葉県
11. 17	令和4年度アニサキスを中心とした寄生虫性食中毒に関する技術講習会	Web 開催
11. 18	令和4年度動物由来感染症レファレンスセンターWebミーティング	Web 開催
12. 1	中濃地区薬物乱用防止研修会	Web 開催
12. 2	日本食品衛生学会近畿ブロック公開セミナー	Web 開催
12. 8	地衛研 Web セミナー	Web 開催
12. 12~14	第58回ねずみ衛生害虫駆除技術研修会	Web 開催

R5. 1. 10	第 37 回全国環境研協議会東海近畿北陸支部研究会	書面開催
1. 31	令和 4 年度第 2 回保健所試験検査担当者研修会	Web 開催
2. 1	倫理指針に関する研修	各務原市
2. 1	JASIS 関西 2023	大阪府
2. 2	衛生理化学分野研修会	Web 開催
2. 15~16	希少感染症診断技術研修会	Web 開催

5.3 学会等

年月日	学 会 名	場 所
R4. 6. 14~16	第 30 回環境化学討論会	Web 開催
9. 22	第 33 回廃棄物資源循環学会研究発表会併設集会「全国環境研協議会研究発表会」	Web 開催
9. 29~ 30	第 43 回日本食品微生物学会学術総会	東京都
10. 31~11. 1	全国衛生化学技術協議会年会	神奈川県
11. 4	地方衛生研究所全国協議会近畿支部自然毒部会	Web 開催
11. 10~11. 11	第 118 回日本食品衛生学会学術講演会	長崎県
11. 13	第 77 回日本衛生動物学会西日本支部大会	岡山県 (Web 参加)
11. 16~17	第 49 回環境保全・公害防止研究発表会	Web 開催
11. 27	第 55 回東海薬剤師学術大会	静岡県
R5. 2. 3~ 5	第 34 回日本臨床微生物学会総会・学術総会	神奈川県
2. 9	地方衛生研究所全国協議会東海・北陸支部衛生化学部会	Web 開催
3. 2~ 3	令和 4 年度地方衛生研究所全国協議会 東海北陸支部 微生物部会	書面開催

6 検査備品

6.1 主要検査備品

品 名	規 格	数量	購入年度	所属
県民健康実態調査システム		1	R1	疫学
全自動リアルタイムPCR装置	Roche Cobas8800	1	R3	保健
次世代型シーケンサー	Illumina iSeq100 system	1	R3	保健
CO ₂ インキュベーター	PHC MCO-170AICUVH-PJ	2	R3	保健
高速冷却遠心機	Eppendorf HimaC Technologies CR-21N	1	R3	保健
循環式アスピレーター	ADVANTEC PSA152AB	2	R3	保健
オートクレーブ	TOMY LSX-300	2	R3	保健
オートクレーブ	TOMY FLS-1000	1	R3	保健
蒸留水製造装置	ADVANTEC RFD240ND	1	R3	保健
ラボ用乾熱滅菌器	ヤマト化学 SK801	1	R3	保健
循環式アスピレーター	ADVANTEC PSA152AB	1	R2	保健
インキュベーター	PHC MIR-254-PJ	1	R2	保健
コロニーカウンター	アズワン DC-3 型	1	R2	保健
サブマリン型電気泳動装置	アズワン MUPID-EXU	1	R2	保健
リアルタイム濁度測定装置	LoopampEXIA	1	R2	保健
	LoopampEXIA 増幅ユニット	1	R2	保健
ブロックインキュベーター	アズワン ブロックバスシェーカー MYBL-100	1	R2	保健
	アズワン 冷却・加温アルミブロックインキュベーター	1	R2	保健
	エッペンドルフ サーモミキサー F1.5	1	R2	保健

品名	規格	数量	購入年度	所属
サーマルサイクラー	バイオラッド BR-1861096B03	3	R2	保健
バイオハザード対策用キャビネット	ヤマト科学 SCV-1308EC2B2	3	R2	保健
	ヤマト科学 SCV-1009EC2A2	2	R2	保健
冷却遠心機	KUBOTA MODEL 6200	3	R2	保健
	ヤマト科学 VT-208HC	4	R2	保健
バイオメディカルフリーザー	PHC MDF-MU539H	1	R2	保健
	日本フリーザー GS-5210HC	1	R2	保健
	日本フリーザー UKS-5410DHC	2	R2	保健
バイオメディカルクーラー	日本フリーザー KGT-4010HC	1	R2	保健
	日本フリーザー NC-ME100EC	1	R2	保健
オートクレーブ	TOMY FLS-1000	1	R2	保健
紫外線照射装置	アトー プリントグラフ CMOS I	1	R1	保健
冷凍機能付インキュベーター	PHC MIR-254-PJ	1	R1	保健
オートクレーブ	トミー精工 LSX-500	1	R1	保健
自動分注器	アズワン 自動分注器 (ダブルポンプタイプ)	1	R1	保健
RNA自動抽出装置	ロッシュ・ダイアグノスティックス MagNA Pure 24	1	R1	保健
プレートウォッシャー	バイオラッド Immunowash1575	1	R1	保健
DNA解析装置	サモフィッシャーサイエンティフィック Applied Biosystems 3500	1	H28	保健
パルスフィールド電気泳動装置	バイオラッド CHEF-DRIII	1	H27	保健
超低温フリーザー	パナソニック MDF-1156ATN	1	H27	保健
超低温フリーザー	パナソニック MDF-794AT-PJ	1	H26	保健
リアルタイムPCR装置	ロッシュ・ダイアグノスティックス LightCycler96	1	H26	保健
超低温フリーザー	サンヨー MDF-794AT	1	H23	保健
PCR装置	バイオラッド C1000 Touch サーマルサイクラー	2	H23	保健
超純水製造装置	日本ミリポア Milli-Q Integral 3S	1	H23	保健
RNA自動抽出装置	QIAGEN QIAcube	2	H21	保健
CO ₂ インキュベーター	サンヨー MCO-36AIC(UV)	1	H18	保健
遺伝子増幅装置	ABI GeneAmp PCR System 9700	1	H17	保健
ゲル撮影装置	TOYOBO FAS-III	1	H17	保健
Nano Drop (スペクトロメーター)	Nano Drop ND-1000	1	H17	保健
遺伝子基本配列入力解析装置	日立 DNASISpro	1	H16	保健
パルスフィールド電気泳動装置	バイオラッド CHEF-DRIII	1	H16	保健
冷却遠心機	クボタ 5922	1	H14	保健
溶出試験用自動サンプリング装置	アジレント 850-DS	1	R2	生活
紫外可視分光光度計	島津 UV-2600	1	R1	生活
溶出試験器	アジレント 708-DS	1	H30	生活
崩壊試験器	富山産業 NT-200	1	H30	生活
紫外可視吸光検出器付高速液体クロマトグラフ質量分析計	島津 Nexera XR/LCMS-2020	1	H29	生活
ガスクロマトグラフ (ECD-FID)	アジレント 7890B GC-ECD-FID	1	H27	生活
ガスクロマトグラフ質量分析計	サモフィッシャーサイエンティフィック TRACE1310GC-ISQ LT	1	H26	生活
デジタルマイクロスコープ	キーエンス VHX-2000	1	H24	生活
電器炉	アドバンテック FUL240FA	1	H23	生活
PCR システム	パーキンエルマー PCR9700	1	H23	生活
リアルタイム PCR システム	タカラバイオ TP800	1	H23	生活
凍結マイクローム	ライカ CM1800	1	H23	生活
蛍光顕微鏡	オリンパス BX51-33-FLD-2, DP70-SET-A	1	H23	生活
液滴向流クロマトグラフ	東京理化 普及型システム DCC-3000	1	H13	生活
高速液体クロマトグラフ	アジレント LC-1100	1	H12	生活
真空凍結乾燥器	アドバンテック VF-350	1	H12	生活
イオンクロマトグラフ分析計	サモフィッシャーサイエンティフィック DIONEX Integrion RFI	1	R3	環境
H S S 付ガスクロマトグラフ質量分析計	島津 GC-MS QP2020 NX	1	R2	環境

品名	規格	数量	購入年度	所属
紫外可視分光光度計	日本分光 (株) V-750	1	R1	環境
ロータリーエバポレーター	日本ビュッヒ R-300	1	R1	環境
ICP 質量分析計	アジレント 7900	1	H30	環境
蛍光検出器付高速液体クロマトグラフ分析計	アジレント 1260 Infinity II LC	1	H29	環境
イオンクロマトグラフ	島津 CBM-20A	1	H29	環境
超純水製造装置	アドバンテック RFS532PC	1	H29	環境
ECD 検出器付ガスクロマトグラフ	アジレント 7890A	1	H28	環境
マイクロ波試料前処理装置	マイルストーン ETHOS EASY	1	H28	環境
ガスクロマトグラフ質量分析計	アジレント 5977A	1	H27	環境
還元気化水銀測定装置	日本インスツルメンツ RA-4300	1	H26	環境
イオンクロマトグラフ	島津 CBM-20A	1	H25	環境
PM _{2.5} フィルタ秤量用恒温恒湿チャンバー	東京ダイレック PWS-PM2.5SE	1	H25	環境
フィルタ測定用マイクロ天びん	ザルトリウス MSA6.6S-000-DF	1	H25	環境
カーボンアナライザー	東京ダイレック Lab model	1	H25	環境
ゲルマニウム半導体γ線検出装置	キャンベラジャパン GC3018	1	H23	環境
全有機炭素計	島津 TOC-L	1	H23	環境
ICP 発光分光分析計	サーモフィッシャーサイエンティフィック iCap6500Duo	1	H23	環境
VOC 分析計	島津 VMF-1000 (FID 式)	1	H18	環境
ガスクロマトグラフ装置	島津 GC2014 (FPD)	1	H17	環境
位相差顕微鏡	ニコン ECLIPSE80i	1	H17	環境
低バックグラウンド放射能自動測定装置	キャンベラ 5-XLB	1	H17	環境
赤外分光光度計	日本分光 FTIR	1	H14	環境
ガスクロマトグラフ	日立 G3000	1	H14	環境
悪臭測定装置	島津 14BFFp	1	H14	環境
高速自動濃縮装置	柴田科学 5410-03	1	H13	環境
高分解能ガスクロマトグラフ質量分析装置	日本電子 JMS-700	1	H11	環境
ガスクロマトグラフ質量分析計	ヒュレットパッカード HP5973	1	H 9	環境
重油中いおう分分析装置	理学電気 サルフア X TR43009	1	H 8	環境
シンチレーションサーベイメーター	アロカ TCS-166	1	H 8	環境
悪臭測定装置	島津 GC-17APFFp	1	H 7	環境
ガスクロマトグラフ質量分析計	アジレント 7010B	1	R3	食品
超純水製造装置	Milli-Q IQ7003	1	R3	食品
ロータリーエバポレーター	EYELA N-1300V-W	1	R3	食品
ホットプレート	増田理化工業 MHP-430	1	R3	食品
高速液体クロマトグラフタンデム質量分析	SCIEX Triple Quad5500+システム・QTRAP Activate	1	R2	食品
ガスクロマトグラフ質量分析計	アジレント 7010B	1	R3	食品
超純水製造装置	Milli-Q IQ7003	1	R3	食品
ロータリーエバポレーター	EYELA N-1300V-W	1	R3	食品
ハイブリッド高速冷却遠心機	久保田商事 6200	1	R1	食品
リアルタイム PCR システム	ThermoFischerSCIENTIFIC 社 QuantStudio5	1	R1	食品
ロータリーエバポレーター	東京理化工業 N-1300V型シリーズ	1	H30	食品
顕微鏡 (撮影装置付き)	オリンパス BX53 (Visualix HDMI スマートカメラ)	1	H30	食品
水素化物発生装置	日立ハイテクサイエンス HFS-4形	1	H29	食品
マイクロプレートリーダー	コロナ電気 MTP-310Lab	1	H28	食品
ポストカラム反応蛍光検出器付高速液体クロマトグラフ	島津 NexeraX2	1	H28	食品
超低温フリーザー	日本フリーザー CLN-32U	1	H27	食品
卓上型電子顕微鏡	日本電子 JCM-6000	1	H26	食品
7-λ変換赤外分光光度計	日本分光 FT/IR-4600	1	H26	食品
原子吸光光度計	日立ハイテクノロジーズ ZA3300	1	H26	食品
液体クロマトグラフ高分解能 Orbitrap 質量分析計	ThermoFischerSCIENTIFIC 社 Q Exactive Plus	1	H26	食品
タンパク質質量解析機器	SCIEX 解析ソフト proteinpilot 等	1	H24	食品

品名	規格	数量	購入年度	所属
ゲルマニウム半導体検出放射能測定装置	セイコーインスツル GEM25p4-70 等	2	H23	食品
高速冷却遠心機	クボタ 7780 II	1	H23	食品
遠心エバポレーターシステム	東京理化工機 CVE-3100 型	1	H23	食品
自動化農薬成分抽出装置	GL サイエンス G-Prep GPC8100	1	H20	食品
ガスクロマトグラフ質量分析計	島津 QP2010	1	H18	食品
還元気化水銀測定装置	日本インスツルメント RA-3 Model3220	1	H16	食品
ガスクロマトグラフ (FPD, NPD検出器付き)	アジレント 6890N	1	H15	食品
高速液体クロマトグラフ (カーボメイト農薬測定用)	島津 LC-10A システム (GPC)	1	H 6	食品
紫外・可視分光光度計	島津 UV-2600	1	—	食品
高速液体クロマトグラフ	島津 LC-20A	4	—	食品

[令和4年度に購入(導入)した検査備品]

品名	規格	数量	所属
自動核酸抽出装置	QIAGEN QIAcube Connect System FUL-1	1	保健
高速冷却遠心機	久保田商事 ハイブリッド高速冷却遠心機 Model162	1	保健
超低温フリーザー	PHC MDF-DC500VX	1	保健
バイオメディカルフリーザー	PHC MDF-MU549DH	2	保健
ハイブリッド高速冷却遠心機	KUBOTA 6200	1	保健
薬用冷蔵ショーケース	PHC MPR-S500H-PJ	1	保健
インキュベーター	PHC MIR-254-PJ	1	保健
フード付きウォーターバス	fisher scientific Isotemp FSGPD10	1	保健
ガスバーナー	FIREBOY plus TG0100 - S	1	保健
上皿天秤	METTLER TOREDO ME303	1	保健
カールフィッシャー水分計 (容量滴定法)	京都電子工業 MKV-710M	1	生活
シーケンシャルサンプラー	サーモフィッシャーサイエンティフィック FRM2025i	4	環境
ロータリーエバポレーター	EYELA N-1300V-WS	4	食品
高速液体クロマトグラフ質量分析装置	島津 LCMS-2050	1	食品
高速液体クロマトグラフ分析装置	島津 NexeraXR	3	食品
分液ロート振とう器	EYELA MMV-1000W	1	食品
窓付恒温水槽	TBN302DA	1	食品
超純水製造装置等	(株)東洋製作所製 RFU665DA	1	食品
研究用保冷庫	PHC 株式会社 MPR-722-PJ	1	食品